

学術フォーラムの概要について（事後報告）

1 名 称：リスク認知と教育

2 日本学術会議以外の共同主催団体等：

共 催：環境学委員会・健康・生活科学委員会合同環境リスク分科会、総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会、農学委員会・食料科学委員会・健康・生活科学委員会合同食の安全分科会、薬学委員会・食料科学委員会・基礎医学委員会合同毒性学分科会、食料科学委員会獣医学分科会、環境学委員会環境思想・環境教育分科会

3 開催日時：令和4年5月7日（土）13:30～16:30

4 開催場所：オンライン開催（Zoom ウェビナー）

5 開催趣旨：

日頃「リスク」という言葉を聞く機会が多いが、「リスク」の考え方を社会全体のものとするには、日本の教育課程の中でリスクにかかわる教育を行う必要があるだろう。本フォーラムでは、リスクの概念、リスク評価の方法、基準値の持つ意味、教育の場でのリスク教育の現状と国際的動向を踏まえつつ、「リスク教育」の必要性やリスク認知の方法などについて議論し、初等・中等教育への「リスク教育」の導入のあり方を多角的に討論する。

6 参加人数：

講演者等：11名

その他の参加者：ウェビナー参加者数 234 名（事後 YouTube 視聴 270 名ほど）

7 特記事項：

事後アンケートでは、参加者の 97%から内容について良かったとの評価を得た。本フォーラムの成果は、6 分科会の意見の表出に反映させる。また、本フォーラムでの議論は、『学術の動向』に特集企画として掲載の予定である。